



加齢に伴って起こる心臓弁膜症 <大動脈弁狭窄症>

心臓は大動脈を通して全身の臓器に血液を送り出し、酸素や栄養を供給するポンプとして働いています。心臓の出口にある大動脈弁は心臓が収縮すると開いて血液が送り出され、収縮が終わると一度送り出した血液が戻らないよう閉じることで有効に血液を循環させる働きがあります。

大動脈弁狭窄症は弁が硬く狭くなる病気です。原因としては主に先天性、リウマチ熱性、加齢によるものがあります。先天性は生まれで、リウマチ熱性は幼少期の溶連菌感染の後遺症ですが最近では診断後に十分治療が行われ減少しています。一方加齢性は動脈硬化と同様で、弁の硬化や石灰化が原因のため寿命の延長に伴い増加しています。

軽症では自覚症状はありませんが次第に息切れ、動悸、疲れやすさを感じるようになり、進行すると胸痛、失神発作、むくみや呼吸困難などの心不全による症状が出てきて不整脈による突然死の原因にもなります。無症状の期間が長く、症状が出てからの生命予後は不良ですので早期の診断が大切です。

心臓には大動脈弁のほか肺動脈弁、三尖弁や僧帽弁があり、それぞれに狭窄症や弁が完全に閉じない閉鎖不全症があります。聴診で心雑音を聴取することで心臓弁膜症が疑われ、胸部レントゲン、心電図、心エコーや心臓カテーテル検査などで正確に診断し、重症度を評価することができます。

治療には心臓の負荷を軽減するための薬物療法や、重症例に対しては手術による人工弁置換術や胸を開かないでカテーテルを使った人工弁留置術も行われています。

早期発見のため健康診断を受け、動悸や息切れを感じた時には年齢によるものと放置しないで医療機関を受診するようにしましょう。

院長 横井 清

お早めに

清須市の個別 健康診査、がん検診について

【特定・後期高齢者健診】

当院は清須市国保の特定健診は11月29日(水)まで、後期高齢者健診は12月27日(水)までの受付です。期限内にぜひお受けください。

1年に1度、ご自身のお体の状態をチェックされることをお勧めいたします。

【肺がん・大腸がん・前立腺がん検診】

12月27日(水)までにお受けください。

(検便は2回分とも12/28までに提出が必要です)

対象年齢でまだ受けられていない方はぜひお申し込みください。

< 電話：052-401-1611 >



インフルエンザワクチンの予防接種について

電話による予約受付を9月25日(月)午後1時より開始します。
(来院はご遠慮ください) 電話：052-401-1611

- 接種は10月16日(月)から開始の予定です。
- 平日の午前中と月～木曜日の午後に行います。
- **小児(特に3歳未満)**のお子さまは10月19日(木)以降の毎週木曜日、午前中と午後3時までの受付で行います。

清須市の高齢者・妊婦・子ども助成事業による補助のほか、ご加入の健保連の補助事業による接種補助券もご利用いただけます。

※当院のインフルエンザワクチン予防接種費用
各種補助適用前 1回3,500円(全年齢)



ゆうあいクリニック ◆リハビリに関するご質問などお気軽にお尋ねください

当院は愛知医療学院短期大学(理学療法士・作業療法士を養成しています)が運営するクリニックです

診療内容

内科・小児科・整形外科
外科・リハビリテーション科

診療時間

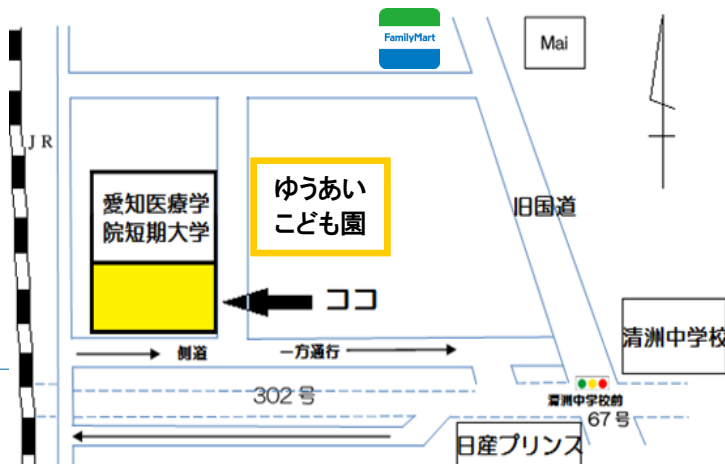
月～金 9:00～12:00
13:00～16:00

休診日

土曜日・日曜日・祝日

〒452-0931 清須市一場 518
TEL (052) 401-1611

付近略図



愛知医療学院大学

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科
理学療法専攻 作業療法専攻



40年にわたるリハビリテーション教育の
実績を継承し、更なる高みへ

2024年4月開学

